

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [自己啓発](#) | [思想とは何か](#) ①
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[社会保障](#)[労使トラブル法律相談Q&A](#)[労働関係法](#)[経営全般](#)[人間関係とコミュニケーション](#)[ライフプラン](#)[男女共同参画](#)[公務員関係法](#)[日朝の歴史](#)[7つの習慣](#)[中東の歴史](#)[ボランティア活動](#)[環境活動](#)[社会貢献活動](#)[自己啓発](#)[生涯学習](#)[外交・防衛問題](#)[資本論](#)[教育カリキュラム](#)[日本国憲法](#)

思想とは何か ①

「物事を見る」といっても、それは一面的なものではありません。様々な「ものの見方」が存在します。労働運動や政治活動にもさまざまな「見方」があります。

ここでは、現代社会を形成している基本的なものの見方を整理し「思想とは何か」について捉えます。

1. 思想は必要でしょうか

「思想はいらない。今の時代は、もう思想・イデオロギーが必要な時代ではない」という人がいます。そういう人の多くは、「人間は思想・イデオロギーでは動かない。人間行動の源泉（エネルギー）になるのは思想や理念ではなく、個人的利害である」と言います。

「思想はいらない」というのも実は立派な思想・考え方なのですが、確かに「私たちの行動のエネルギーは個人的利害である」という考え方も理解できます。

私達が一生懸命に働くのは、女房や子供たちに囲まれて快適な家に住み、家族と一緒に団欒ができ、そのうえ仕事の面でも認められ、自分が納得できる充実した生活をしたい、という個人的な動機・利害が「行動の源泉」になっている場合が多いからです。

世界平和や高邁な教養を説く宗教家も、その人自身の宗教入信動機は、自分自身の悩みや苦悩からの救いを求める、という個人的な動機である場合の方が多いでしょう。

しかし、そのような利害が動機で働く人も、その基本的な考え方・思想が「自分勝手に、独善的、自分さえ良ければいい、法律を犯しても自分たちの思いが実現できればいい」という考えかたならどうでしょうか。

結局人間関係で問題を起こしたり、最悪の場合は犯罪者として自分や家族の破滅に繋がってしまう、あるいは社会的に厳しく糾弾され社会の表舞台から降ろされてしまう事例はこれまでも数多く見受けられます。

2. 人間行動のエネルギーとは

確かに私達の行動の直接のエネルギーは利害ですが、その人の人世や組織の将来に対する大きな方向や行き先を決めるのが「思想・考え方・理念」なのであり、思想は直接的な行動のエネルギーにはなりえなくても、その人や組織の方向を決める重要な役割を持つのです。

労働組合の歴史を見ても、その組織やリーダーがもっていた考え方・思想によってその対応が大きく変わった例は数多くあります。

戦後日本はこれまで何回も産業構造の変化を経験してきましたが、その時の労働組合の対応は、その時のリーダーの考え方・思想によって大きく違いが出てきました。

[思想とは何か②](#) ⇒

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🔍 サイトマップ 🔍 このサイトについて 🔍 個人情報保護の取組みについて

🔍 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE 【ワーカーズ・ライブラリー】

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.